

【件名】	路面補修工事（6北北の3）	【事務所名】	北多摩北部建設事務所	
【工事場所】	東京都清瀬市松山一丁目地内から埼玉県新座市新堀三丁目地内まで 外1箇所主要地方道さいたま東村山線(第40号)新小金井街道外1路線	【受注者名】	協立舗道株式会社東京支店	
【工期】	令和6年7月29日から令和7年5月7日まで	【主たる技術者名】	監理技術者 佐野 彰史	

【工事概要】

【1工区】

工事延長 L=290.6m

車道打換工（低騒音舗装） 厚40cm A=1663㎡

車道打換工（密粒度舗装） 厚25cm A=587㎡

道路打換工（低騒音舗装） 厚60cm A=501㎡

【2工区】

工事延長 L=140.9m

車道打換工（密粒度舗装） 厚25cm A=866㎡

街きょ工（155（25型 一般部・乗入部） L=145.9m

【表彰理由】（※発注者側評価）

受注者は、現場着手に先立ちセメント処理路盤の範囲や厚みを確認するため試掘工を実施した。この結果、当初設計を大幅に上回る範囲でセメント処理路盤が確認されるとともに劣化も認められたことから、この全てを撤去する変更提案がされた。施工にあたっては、増工に伴う影響を最小限に抑えるため、重機を増台するなど施工体制を整えるとともに、沿道住民には丁寧に説明を行った。また、技術力の発揮ではICT活用による3次元起工測量を実施、そして電動ランマやプレートによる低炭素化の取組み、リチウムイオンバッテリーを電源とした投光器を使用しH T Tの取組みも適切に実施した。



施工前



施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点

2工区に関して、現況の歩道について通常は、地先側から街渠側へ雨水が流れる勾配ですが、ところどころ歩道勾配が逆勾配の箇所が見受けられました。歩道の勾配を通常の状態にするために縦横断計画を設定することが最重要と考え現場を調査した結果、民地側の高さ調整は不可能と判断し、街渠側の高さ調整（ブロックの種類を替える等）をして歩道勾配を設定しました。設定する際は、縦断の平坦性を良好にし、滑らかに走行できるようバーチカルを利用し縦横断勾配を設定しました。

◇ 特に工夫した点

道路打換工及び街きょ取壊しには、油圧式破碎機を使用するにあたり、舗装版、コンクリート版が歩行者及び通行車両へ飛散する懸念がありました。そのため、手持ち型の飛散防止ネットを歩道側・車道側の両方に作業員が持ち、破碎機と同じ場所に移動しながら飛散防止を心がけ、結果、飛散による事故無く終えることができました。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感

発注者と受注者が一丸となって工事を終えることができたこと、また工事を終えた後、地域住民の方から道路が振動など無くなって良くなったと感謝された事は、非常にやりがいを感じました。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

建設業は、目的をひとつとする仲間の集まりです。苦労することもあります、その分みんなで作り上げた現場は、何よりの宝物になると思います。一緒に頑張りましょう。



重機2台稼働及び飛散防止状況